

都市大女子は初戦敗退

前回ベスト4となった都市大塩尻がまさかの1回戦負けを喫した。エースアタッカーで主将の高相みな実(3年)が昨年12月20日に行った練習試合で左足首をねんざし、本来の力を発揮できなかったのが痛手だった。岡田隆安監督は「他の3年生でカバーできれば良かったが高相に頼ってしまった。勝負どころでミスも出て崩れて根負けした」と悔しさをにじませた。

第1セットは立ち上がり不安定さを見せ、21-25で失

った。第2セットはセンター小林禎(同)の連続ポイントなどで25-23で奪った。最終セットは

主力の故障 カバーできず 都市大

「他の3年

生でカバーできれば良かった

が高相に頼ってしまった。勝

負どころでミスも出て崩れて

根負けした」と悔しさをにじ

ませた。

第1セットは立ち上がり不安定さを見せ、21-25で失

った。第2セットはセンター小林禎(同)の連続ポイントなどで25-23で奪った。最終セットは

泣いた。(小口浩一)

た。高相が終盤に意地のスパイクを決めたが最後は力尽きた。セッターの中島咲智

「痛み止めの薬を飲んだが跳びきれなかった。期待に応えられなくて申し訳ない」と号泣した。

一進一退の攻防を見せ、都市大塩尻がリードする場面もあったが、要所でミスを連発した。

「痛み止めの薬を飲んだが跳びきれなかった。期待に応えられなくて申し訳ない」と号泣した。

みな実が決めてリズムをつかんできた。頼り



【都市大塩尻―松山東雲】試合終了後に涙を流す都市大塩尻の高相(左)

■この記事・写真等は市民タイムスの許諾を得て転載しています。無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。